

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7事業計画
-------	-------	-------	---------	------	------	-------------------	-----------	-----------	-------	-------	-------	-----------	---------

みんなではぐくむ健康づくり

①全世代共通の健康づくり

栄養・食生活

評価区分の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった  
○ 期待どおりの成果があった  
△ 期待未満の成果であった

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7事業計画
野菜摂取の必要性の啓発、地元産野菜の普及啓発	食育推進事業	健康増進課	●事業の目的・内容 健康づくり推進に取り組む飲食店等と行政が連携した取組を実施することで、野菜の摂取量増加をねらい、健康づくりの機運を高め、自然と健康になれる環境づくりへつなげます。 食育の日(毎月19日)や食育月間(毎年6月)において、共食の推進や野菜の摂取量の増加を促すための取り組みを実施します。食の大切さや興味を持ってもらえるような啓発に併せて、料理レシビサービスを使用し、地場産の野菜等のPRを行います。 ●予算の内訳 健康啓発推進費:2,325 食育推進事業費:455 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	2,780	2,449	●指標 野菜摂取量の増加 ●目標値(目標年度) 令和17年度 350g ●現状値(年度) 令和6年度 — 令和4年度 244.8g	●市内協力店舗 飲食店30店舗 ●草津ベジランチ・ベジディナー提供数 20,334食 ●草津市クックパッド公式キッチン「草津・たび丸Kitchen」 掲載レシピ数:267 総アクセス数:664,454 ●食育月間・食育の日の取組 ●デジタルサイネージや行内放送、クックパッドでの周知等	○	1,990	●食と運動プロジェクト(案) 市内飲食店に野菜を多く使用したメニューを提供してもらい、飲食店への食育の実践を促します。また、店舗利用者には自然に野菜が摂取できる環境を提供します。 ●草津市クックパッド公式キッチン「草津・たび丸kitchen」 地場産の野菜や旬の野菜を用いたレシピ、健康づくりのためのレシピ等を作成し、月1回草津市クックパッド公式キッチンに掲載します。
	健康啓発推進事業	健康増進課	●事業の目的・内容 運動講座を開催し運動の習慣化を目指した取組を実施することで、健康づくりの機運を高め、自然と健康になれる環境づくりへつなげます。 ●予算の内訳 健康啓発推進費:2,325 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	<再掲>上記「食育推進事業」予算の内 2,325	2,025	●指標 運動習慣者の増加 ●目標値(目標年度) 令和17年度 増加 ●現状値(年度) 令和6年度 — 令和4年度 53.5%	●運動講座開催回数 3回 ●参加者に対しアンケートを実施し、評価しました。 【アンケート結果】 運動講座で学んだ内容を自宅でも継続して実施しようと思うかという問いに対して、回答者のうち積極的に実施したいが約7割、時々実施したいが約3割でした。	○	1,694	●運動講座の開催 運動事業所等と連携し、適度な運動の必要性を広く啓発し、運動の習慣化をすすめます。また、食と運動プロジェクトにおいて、食と運動の運動した取組を行います。

歩くこと・運動

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6 実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7 事業計画
体を動かす動機付けとなる仕組みや機会の提供	健康フェア	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 こどもから高齢者まで、幅広い世代に対して健康づくりや運動のきっかけづくりを進めていくため、ウォーキングなど日ごろ運動をしていない方でも気軽にはじめられ、幅広い層の市民が取り組みやすいスポーツイベントや、食も含めた健康づくりのきっかけづくりとイベントを実施します。 ●予算の内訳 健康フェア開催費:1,280 ●位置付けのある関連計画等 草津市健康都市づくり基本方針	1,280	1,280	●指標 「健康に暮らしている」と思う市民の割合 ●目標値(目標年度) 60.0%(令和14年度) ●現状値(年度) (令和6年度)66.2%	「みんなの健康フェア」を10月6日に市制施行70周年事業として規模を拡大して実施した結果、来場者数が大幅に増え、より幅広い方々に健康づくりの働きかけを行うことができました。(来場者数:健康フェア6,111名)	◎	1,280	体験型健康イベントである「みんなの健康フェア」を実施し、健康への意識・関心が低い方々に対しても、健康づくりに取り組むためのきっかけを提供します。
	びわこ・くさつ健康フェスタ	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 「健康」の重要性を発信し、より多くの人に「健康」を意識してもらうとともに、健康づくりや運動のきっかけづくりするために、立命館大学と共催で、地域住民・企業・行政・学生／教職員等が集い、様々な体験ができるイベント「びわこ・くさつ健康フェスタ」を実施し、ウォーキングの楽しさやコツを学び日々のウォーキング習慣に繋げてもらえるようイベント内で「くさつ・健康ウォークラリー」を実施します。 ●予算の内訳 びわこ・くさつ健康フェスタ事業費:1,693 ●位置付けのある関連計画等 草津市健康都市づくり基本方針	1,693	1,693	●指標 「健康に暮らしている」と思う市民の割合 ●目標値(目標年度) 60.0%(令和14年度) ●現状値(年度) (令和6年度)66.2%	体験型健康イベントである「びわこ・くさつ健康フェスタ」を開催した結果、健康への意識・関心が低い方々に対しても、健康づくりに取り組むためのきっかけを提供することができました。 練平和堂とタイアップした「ベジチェック測定会」を実施するなど、企業との連携強化にも取り組みました。(来場者数:健康フェスタ14,124名、うち健康ウォークラリー1,000名(完走867人))	○	374	「びわこ・くさつ健康フェスタ」を実施し、ウォーキングの楽しさやコツを学び日々のウォーキング習慣に繋げてもらえるようイベント内で「くさつ・健康ウォークラリー」を実施します。
	草津市立プール整備・運営事業	公園緑地課	●事業の目的・内容 令和7年開催の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の水泳競技会場として、また、「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」の実現を図るための施設として、令和6年8月に供用開始しました。 供用開始後は、国内の新たな水泳競技拠点として、また市民の健康づくり拠点として施設の管理・運営を行います。 ●予算の内訳 令和6年度 現年分 PFIサービス購入料(整備分):3,589,482 PFIサービス購入料(運営分):292,451 その他:10,894 令和5年度 繰越分 PFIサービス購入料(整備分):241,000 市道西大路4号緑地改修工事:5,400 ●位置付けのある関連計画等 草津市健康都市づくり基本方針	令和6年度 現年分 3,892,827 令和5年度 繰越分 246,400	令和6年度 現年分 3,880,749 令和5年度 繰越分 246,306	草津市立プールの整備を進めるとともに、開業準備業務や運営・維持管理業務についても、事業者や関係団体等と施設の供用開始に向けた準備を進め、令和6年8月に供用開始することができました。	○	344,831	草津市立プールが市民の健康づくり拠点となるよう、事業者による管理運営を行い、多くの方に利用いただくとともに、各種イベント等の取組みや活動により、引き続きにぎわいの創出を図ります。	
誰でも簡単にできる体操の普及、ウォーキングイベント等の開催	【再掲】健康啓発推進事業	健康増進課	●事業の目的・内容 運動講座を開催し運動の習慣化を目指した取組を実施することで、健康づくりの機運を高め、自然と健康になれる環境づくりへつなげます。 ●予算の内訳 健康啓発推進費:2,325 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	<再掲>上記「食育推進事業」予算の内 2,325	2,025	●指標 運動習慣者の増加 ●目標値(目標年度) 令和17年度増加 ●現状値(年度) 令和6年度－ 令和4年度53.5%	滋賀県の健康・栄養調査マップをもとに実績値を記入しているが、最新のものが令和4年度のため令和6年度については記入不可。	○	1,694	●運動講座の開催 運動事業所等と連携し、適度な運動の必要性を広く啓発し、運動の習慣化をすすめます。
	【再掲】びわこ・くさつ健康フェスタ	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 「健康」の重要性を発信し、より多くの人に「健康」を意識してもらうとともに、健康づくりや運動のきっかけづくりするために、立命館大学と共催で、地域住民・企業・行政・学生／教職員等が集い、様々な体験ができるイベント「びわこ・くさつ健康フェスタ」を実施し、ウォーキングの楽しさやコツを学び日々のウォーキング習慣に繋げてもらえるようイベント内で「くさつ・健康ウォークラリー」を実施します。 ●予算の内訳 びわこ・くさつ健康フェスタ事業費:1,693 ●位置付けのある関連計画等 草津市健康都市づくり基本方針	1,693	1,683	●指標 「健康に暮らしている」と思う市民の割合 ●目標値(目標年度) 60.0%(令和14年度) ●現状値(年度) (令和6年度)66.2%	体験型健康イベントである「びわこ・くさつ健康フェスタ」を開催した結果、健康への意識・関心が低い方々に対しても、健康づくりに取り組むためのきっかけを提供することができました。 練平和堂とタイアップした「ベジチェック測定会」を実施するなど、企業との連携強化にも取り組みました。(来場者数:健康フェスタ14,124名、うち健康ウォークラリー1,000名(完走867人))	○	374	「びわこ・くさつ健康フェスタ」を実施し、ウォーキングの楽しさやコツを学び日々のウォーキング習慣に繋げてもらえるようイベント内で「くさつ・健康ウォークラリー」を実施します。

休養・こころの健康づくり

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7事業計画
市民の交流機会の創出	草津川跡地公園運営事業 草津川跡地整備事業	草津川跡地整備課	●事業の目的・内容 にぎわいが創出され、人と自然が触れ合い、うるおいがもたらされる空間づくりに取り組んでいくために、草津川跡地が市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人が関わる魅力的な空間、災害時の防災空間となるよう整備・運営を行います。 ●予算の内訳 草津川跡地公園(区間2・5)指定管理:104,500 草津川跡地(区間6)整備工事:149,502 ●位置付けのある関連計画等 草津川跡地利用基本計画	委託料(指定管理料) 104,500 工事請負費(草津川跡地整備工事) 149,502	委託料(指定管理料) 103,241 工事請負費(草津川跡地整備工事) 47,850	●指標 「草津川跡地の空間整備」に満足している市民の割合 ●目標値(目標年度) 42.1%(令和6年度) ●実績値(目標年度) (令和6年度)39.5%	・草津川跡地公園については、市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人が関わる魅力的な空間となるよう、指定管理者による管理運営を行い、多くの方に来園して利用いただくとともに各種イベント等の取組みや活動により、にぎわいを創出できました。 イベント実施件数:472件 主なイベント等:Play in the park、桜まつり、くさねっこプログラム等 ・草津川跡地(区間6)整備事業については、国道1号から東側の草津地域の土砂搬出を行いました。 土砂搬出、構造物撤去工、伐採工 ※一部令和7年度に繰越して実施します。	○	委託料(指定管理料) 104,500 工事請負費(草津川跡地整備工事) 現年分 186,527 繰越明許分 101,652	・草津川跡地公園が市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人が関わる魅力的な空間となるよう、指定管理者による管理運営を行い、多くの方に来園して利用いただくとともに各種イベント等の取組みや活動により、引き続きにぎわいの創出を図ります。 ・草津川跡地(区間6)整備事業については、引き続き供用開始に向けて整備します。
	地域サロン推進事業	長寿いきいき課	●事業の目的・内容 高齢者の生きがいづくりや社会交流の活性化を推進するため、地域サロン活動への支援に取り組むとともに、地域サロンの開催に要する経費の一部を補助します。 ●予算の内訳 活動支援事業補助:11,754 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	11,754	11,144	●指標 「いきいきとした高齢社会の実現」についての満足度 ●目標値(目標年度) 34.0%(令和8年度) ●現状値(年度) (令和6年度)24.5%	高齢者の生きがいづくりや、社会交流の活性化を推進できるよう補助金交付等を行い、高齢者福祉の増進に寄与しました。 ◆地域サロン活動支援事業補助金…地域サロン数:154クラブ	○	12,217	●地域サロン活動支援事業 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し、高齢者の生きがいづくりや、社会交流の活性化を推進できるよう地域サロン活動を支援します。
相談支援体制の充実、悩みを持つ者同士の交流の場づくり	精神保健福祉対策	健康増進課	●事業の目的・内容 精神疾患の発病予防や市民の精神的健康の保持および増進を図るため、保健・福祉・医療等関係機関と連携を図り、こころの健康相談を行います。 ●予算の内訳 精神保健福祉対策費:97 ●位置付けのある関連計画等 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 健康くさつ21、草津市自殺対策行動計画	97	59		●こころの健康に関する相談 ・こころの健康に関する相談を受け、必要な支援や医療につなぐ等、関係機関と連携した支援を行いました。 ●相談窓口リーフレットの作成・配布 ・相談窓口を一覧にした相談窓口リーフレットを作成し、関係機関等に配布する等、周知啓発をはかりました。 ●事例検討会の開催 相談業務従事者の資質の向上に向け、精神保健にかかる事例検討会を実施しました。年6回	○	97	●こころの健康に関する相談 こころの健康に関する相談を受け、必要な支援や医療につなぐ等、関係機関と連携した支援を行います。 ●相談窓口リーフレットの作成・配布 相談窓口を一覧にした相談窓口リーフレットを作成し、関係機関等へ配布するとともに、各種イベントや広報誌を活用し、周知啓発をはかります。 ●事例検討会の開催 相談業務従事者の資質の向上に向け、精神保健にかかる事例検討会を実施します。
	福祉の総合相談窓口	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 人とくらしのサポートセンターでは、「福祉の総合相談窓口」として、生活困窮者だけでなく、複合的な課題を抱える方への相談支援を行い、ひきこもり等につきましては、アウトリーチを行いながら支援を実施しているところです。また、令和4年度からは、就労支援相談員を配置し、就労支援にも力を入れ、まちづくりセンターでの出張就労相談も行っています。 ●予算の内訳 生活困窮者自立相談支援員加配費 :11,927 就労準備支援事業委託費 :8,177 一時生活支援事業費(シェルター事業費) :1,149 住居確保給付金給付費 :2,211 その他事務費 :815 ●位置付けのある関連計画等 草津市地域福祉計画、各種福祉関連計画(児童・障害等)	24,279	22,527		・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」として、多様で複合的な悩みなどの相談に対し、関係課・関係機関と連携を図りながら支援を行いました。また、市民への周知を図るため、ホームページや広報くさつへの掲載等を実施いたしました。 ・生活困窮者自立支援事業においては、自立相談支援、住居確保給付金、就労準備支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、こどもの学習支援事業等の事業に取り組みました。 ・総相談件数 670件(うち当センターのみ577人)(実件数) 内、生活困窮者自立相談 606件 総合相談 64件(各実件数) ・住居確保給付金 17件 (実件数(延長、再延長、再々延長含む)) ・就労準備支援事業 9件(実件数) ・一時生活支援事業 3件(実件数、延長含む) ・家計改善事業 11件(実件数) ・こどもの学習支援事業 1件(実件数) ・就労支援 51件(プラン件数)	○	30,037	●福祉の総合相談窓口 福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、生活困窮者を含む多様な課題について相談を受け本人と一緒に情報を整理するとともに関係機関との連携を密にし、必要な支援に繋ぎ課題解決に向けて進めていきます。 ○健康都市に向けた効果・ねらい 生活困窮者に限らず、複合的な課題を抱えた人たちの、多様化、複雑化する福祉ニーズに対応した相談支援を行います。

住まい

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7事業計画
住宅確保困難者に対する居住支援	住居確保給付金	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 雇職・休職など収入の減少により経済的に困窮し、住居を失うおそれのある者等に対し、一定期間の家賃相当額の支給や転居費用の支援をすることで、住居の安定および就労機会の確保に向けた支援を行います。 ●予算の内訳 住居確保給付金給付費 :2,211 ●位置付けのある関連計画等 草津市地域福祉計画、草津市住生活基本計画	<再掲> 上記「福祉の総合相談窓口」予算の内 2,211	1,633		<再掲> ・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」として、多様で複合的な悩みなどの相談に対し、関係課・関係機関と連携を図りながら支援を行いました。また、市民への周知を図るため、ホームページや広報くさつへの掲載等を実施いたしました。 ・生活困窮者自立支援事業においては、自立相談支援、住居確保給付金、就労準備支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、こどもの学習支援事業等の事業に取り組みました。 ・総相談件数 670件(うち当センターのみ577人)(実件数) 数) 内、生活困窮者自立相談 606件 総合相談 64件(各実件数) ・住居確保給付金 17件 (実件数(延長、再延長、再々延長含む)) ・就労準備支援事業 9件(実件数) ・一時生活支援事業 3件(実件数、延長含む) ・家計改善事業 11件(実件数) ・こどもの学習支援事業 1件(実件数) ・就労支援 51件(プラン件数)	○	<再掲> 上記「福祉の総合相談窓口」予算のうち 7,077	<再掲> ●福祉の総合相談窓口 福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、生活困窮者を含む多様な課題について相談を受け本人と一緒に情報を整理するとともに関係機関との連携を密にし、必要な支援に繋ぎ課題解決に向けて進めていきます。 ○健康都市に向けた効果・ねらい 生活困窮者に限らず、複合的な課題を抱えた人たちの、多様化、複雑化する福祉ニーズに対応した相談支援を行います。
	住まいの総合相談窓口	建築政策課	●事業の目的・内容 低額所得者や高齢者、障害者等、住宅の確保に特に配慮を要する人に、住宅情報の提供等居住にかかる必要な支援体制を整備するため、滋賀県が認定する居住支援法人と市の福祉・住宅部局で構成する草津市居住支援協議会を令和7年4月1日に設立しました。 この協議会を通じて、官民連携による住宅確保要配慮者に対する居住支援相談体制の充実を図ります。 ●予算の内訳 ●位置付けのある関連計画等 草津市住生活基本計画	0	0	●指標 草津市に所在地を置き活動する居住支援法人数 ●目標値(目標年度) 1法人(令和10年度) ●現状値(年度) 3法人(令和6年度)	草津市居住支援協議会の設立に向けて、関係機関との調整や連携に向けた検討を進めました。	○	99	草津市居住支援協議会の役割や意義について周知を図るとともに、個別の相談案件への対応を通じて、より良い支援のあり方を検討します。



たばこ・アルコール

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7事業計画
路上喫煙者に対する啓発活動	たばこ対策事業	健康増進課	●事業の目的・内容 喫煙防止および受動喫煙防止について、さまざまな機会を捉えて知識の普及啓発を実施します。また、禁煙したい人が禁煙できるように情報提供等支援を行い、禁煙者の増加や望まない受動喫煙防止を目指します。 ●予算の内訳 たばこ対策事業(健康教育費):175 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	175	173	●指標 喫煙率の減少 20未満の者の喫煙をなくす 妊娠中の喫煙をなくす ●目標値(目標年度) 令和17年度 喫煙率の減少:減少 20未満の者の喫煙をなくす:0% 妊娠中の喫煙をなくす:0% ●現状値(年度) 令和6年度 — 令和4年度 喫煙率の減少:11.5% 20未満の者の喫煙をなくす:0% 妊娠中の喫煙をなくす:1.1%	滋賀県の健康・栄養調査マップをもとに実績値を記入しているが、最新のものが令和4年度のため令和6年度については記入不可。 ●禁煙週間における啓発 ・市役所庁内および南草津駅のデジタルサイネージを活用した啓発を行いました。 ・草津市健康都市宣言賛同企業・団体に対し、メールで啓発を行いました。 ●受動喫煙防止にかかる啓発 ・「望まない受動喫煙の社会の実現」を図るため、庁内関係所属と連携し、ポスター掲示など啓発を行いました。	○	175	●禁煙や受動喫煙防止にかかる啓発 広報紙やSNS等を活用し、喫煙や受動喫煙が自身に及ぼす影響に関する情報や、喫煙したい人が喫煙できるように情報提供を行います。
	路上喫煙対策事業	生活安心課	●事業の目的・内容 路上喫煙禁止区域内での喫煙者のマナーの向上や望まない受動喫煙防止を図るため、路上喫煙の防止に向けた啓発を行うとともに、草津駅および南草津駅の両駅に設置する喫煙所(マナースペース)の維持管理等を行います。 ●予算の内訳 啓発委託:1,303、喫煙所管理委託:5,995、その他消耗品費等:1,059 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	8,357	7,957		路上喫煙の防止に向けて、巡回啓発を年間276回行うとともに、清掃や機械整備により、喫煙所の適正な維持管理に努めました。	○	8,216	●より効果的な巡回啓発を行うとともに、引き続き、路上喫煙の防止に向けた啓発や喫煙所の維持管理に努めます。 ○健康都市に向けた効果・ねらい 引き続き、路上喫煙禁止区域内での喫煙者のマナーの向上や望まない受動喫煙防止を図ります。

健康診査・各種けん診

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7事業計画
健康診査やがん検診等の受診率向上対策	各種がん検診事業 特定保健指導	健康増進課	●事業の目的・内容 がんの早期発見・早期治療により、がんの死亡率減少を目的に、対象年齢の市民に対し、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの検診を実施するため、地域の医療機関および特定健診会場での同時実施が可能な集団けん診会場での検診体制を整えます。 特定健康診査の結果から生活習慣病のリスクが高いと判断された方に対して生活改善の指導を実施します。 ●予算の内訳 健康診査費:146,719 特定保健指導費:14,448 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業実施計画(特定健康診査等実施計画・データヘルス計画)、健康くさつ21	健康診査費 146,719 特定保健指導費 14,448	健康診査費 136,204 特定保健指導費 9,069	●指標 がん検診の受診率の向上 ●目標値(目標年度) 60%(令和17年度) ●現状値(年度) 令和6年度 胃(50歳以上)2.7% 肺(40歳以上)9.1% 大腸(40歳以上)7.8% 子宮(20歳以上女性)14.3% 乳(40歳以上女性)11.8% 令和5年度 胃(50歳以上)3.1% 肺(40歳以上)7.6% 大腸(40歳以上)6.5% 子宮(20歳以上女性)14.3% 乳(40歳以上女性)11.9%	●がん検診・各種けん診等の実施 受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行いました。 ・医療機関での個別検診および特定健診との同時受診が可能な集団けん診を行いました。また、集団けん診については、予約枠拡大、Web予約の実施とともに、託児支援を受けられる環境づくりを行いました。 ・ナッジ理論を活用し、がん検診対象者に個別勧奨・再勧奨通知と大腸がん検査キット送付を行いました。 ・子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行いました。 ・イオンシネマや市SNS公式アカウントにおけるがん検診啓発動画を放映しました。  ●特定保健指導 特定保健指導未利用者に対しての訪問や、イベント型特定保健指導の実施など、実施率向上に努めました が、前年度より保健指導実施率が低下しました。	○	健康診査費 160,657 特定保健指導費 16,134	●がん検診・各種けん診等の実施 受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行います。 ナッジ理論を取り入れた勧奨通知によるがん検診個別勧奨と大腸がん検査キット送付による再勧奨を行います。 子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行います。 集団検診における予約枠および実施会場の拡大やWeb予約の実施、託児支援を行います。  ●特定保健指導 特定保健指導利用向上をはかるため、訪問指導を積極的に行います。
	特定健康診査 後期高齢者健康診査	保険年金課	●事業の目的・内容 特定健康診査については、個別健診と集団けん診を併用して特定健診を実施するとともに、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付し、受診率の向上を目指します。また、生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケートの実施、集団けん診会場での健康啓発ブースの設置を行います。 後期高齢者健康診査については、後期高齢者医療制度加入者に対し、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受けて、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査を実施します。 ●予算の内訳 <特定健康診査費> 会計年度任用職員人件費(2人):8,179、特定健診リーフレット等:871、特定健診手数料等:4,398、特定健診委託料等:61,762、その他システム利用料等:1,429 <後期高齢者健康診査費> 健康啓発リーフレット等:399、連合会手数料等:1,968、後期健診委託料等:38,079、その他事務費:1,423 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業推進計画(データヘルス計画・特定健康診査等実施計画)	特定健康診査費 76,639 後期高齢者健康診査費 41,869	特定健康診査費 64,197 後期高齢者健康診査費 41,668	●指標 特定健診受診率 ●目標値(目標年度) 特定健診60.0%(令和11年度) ●現状値(年度) (令和6年度)38.8% 後期健診 (令和6年度)27.7%	●特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(10回)を併用して特定健診を実施しました。 ・対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付しました(7月13、338人、8月12、960人、9月12、311人)。 ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケート配布を実施しました(配布枚数約400枚)。 ・集団けん診会場で健康啓発ブースを設置しました(6回)。  ●後期高齢者健康診査 ・令和6年度より滋賀県後期高齢者医療広域連合が除外対象者の見直しを行ったため、健診の対象者が大幅に増加したことにより、滋賀県全体の受診率27.7%と同率となりました。	○	特定健康診査費 87,329 後期高齢者健康診査費 48,419	●特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(12回)を併用して特定健診を実施します。 ・集団けん診では、託児サービスやショッピングモールをでの実施等により、若い世代のけん診受診の機会を確保します。 ・電話と電子申請を併用して集団けん診を受け付けます。 ・受診勧奨を委託することで、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知の送付や電話勧奨、SMSを利用した勧奨を行います。 ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発や集団けん診会場で健康啓発ブースを設置します。  ●後期高齢者健康診査 ・後期高齢者医療制度加入者(病院に入院(6か月以上)または、老人ホーム等に入所している方等を除く)に対し、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受けて、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査を実施します。  ○健康都市に向けた効果・ねらい ・特定健康診査や後期高齢者健康診査を実施することで、被保険者の健康課題等を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、被保険者の健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持および向上を図ります。
	【再掲】 各種がん検診事業	健康増進課	●事業の目的・内容 がんの早期発見・早期治療により、がんの死亡率減少を目的に、対象年齢の市民に対し、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの検診を実施するため、地域の医療機関および特定健診会場での同時実施が可能な集団けん診会場での検診体制を整えます。 ●予算の内訳 健康診査費:146,719 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	健康診査費 146,719	健康診査費 136,204	●指標 がん検診の受診率の向上 ●目標値(目標年度) 60%(令和17年度) ●現状値(年度) 令和6年度 胃(50歳以上)2.7% 肺(40歳以上)9.1% 大腸(40歳以上)7.8% 子宮(20歳以上女性)14.3% 乳(40歳以上女性)11.8%	●がん検診・各種けん診等の実施 受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行いました。 ・医療機関での個別検診および特定健診との同時受診が可能な集団けん診を行いました。また、集団けん診については、予約枠拡大、Web予約の実施とともに、託児支援を受けられる環境づくりを行いました。 ・ナッジ理論を活用し、がん検診対象者に個別勧奨・再勧奨通知と大腸がん検査キット送付を行いました。 ・子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行いました。 ・イオンシネマや市SNS公式アカウントにおけるがん検診啓発動画を放映しました。	○	健康診査費 160,657	●がん検診・各種けん診等の実施 受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行います。 ナッジ理論を取り入れた勧奨通知によるがん検診個別勧奨と大腸がん検査キット送付による再勧奨を行います。 子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行います。 集団検診における予約枠および実施会場の拡大やWeb予約の実施、託児支援を行います。

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7事業計画
			けん診を受けやすい環境の整備	【再掲】 特定健康診査	保険年金課	●事業の目的・内容 特定健康診査については、個別健診と集団けん診を併用して特定健診を実施するとともに、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付し、受診率の向上を目指します。また、生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケートの実施、集団けん診会場での健康啓発ブースの設置を行います。 後期高齢者健康診査については、後期高齢者医療制度加入者に対し、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受けて、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査を実施します。 ●予算の内訳 <特定健康診査費> 会計年度任用職員人件費(2人): 8,179、特定健診リーフレット等: 871、特定健診手数料等: 4,398、特定健診委託料等: 61,762、その他システム使用料等: 1,429 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業推進計画(データヘルス計画・特定健康診査等実施計画)	特定健康診査費 76,639	特定健康診査費 64,197	●指標 特定健診受診率 ●目標値(目標年度) 特定健診60.0%(令和11年度) ●現状値(年度) 特定健診(令和6年度)38.8%	●特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(10回)を併用して特定健診を実施しました。 ・対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付しました(7月13, 338人、8月12, 960人、9月12, 311人)。 ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケート配布を実施しました(配布枚数約400枚)。 ・集団けん診会場で健康啓発ブースを設置しました(6回)。  ○健康都市に向けた効果・ねらい ・特定健康診査や後期高齢者健康診査を実施することで、被保険者の健康課題等を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、被保険者の健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持および向上を図ります。	○	特定健康診査費 87,402	●特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(12回)を併用して特定健診を実施します。 ・集団けん診では、託児サービスやショッピングモールをでの実施等により、若い世代のけん診受診の機会を確保します。 ・電話と電子申請を併用して集団けん診を受け付けます。 ・受診勧奨を委託することで、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知の送付や電話勧奨、SMSを利用した勧奨を行います。 ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発や集団けん診会場で健康啓発ブースを設置します。

世代ごとの健幸づくり

子育て世代(親:妊娠・出産・子育て期、子:乳幼児期)

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7事業計画
妊娠・出産・子育ての切れ目のない相談・支援体制	【草津市子育て6つの案だ】 第3子以降保育料無償化事業	幼児課 幼児施設課	●事業の目的・内容 広く子育て世帯の負担を軽減し、多子世帯にとって子育てしやすいまちの実現を目指すことを目的に、第3子以降の保育料について、所得制限なし・年齢制限なしでの無償化を実施する。  ●予算の内訳 市内認定こども園:39,752(92人) 家庭的保育事業所:1,178(2人) 小規模保育事業所:8,548(24人) 市外認定こども園:3,63(2人) ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	49,841	56,983		0～2歳までの第3子以降の保育料について、所得制限なし・年齢制限なしでの無償化を実施し、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図ることができました。(対象者数191名)		57,041	引き続き、第3子以降の保育料の支援を行い、広く子育て世帯の負担を軽減し、多子世帯にとって子育てしやすいまちの実現を目指します。
	【草津市子育て6つの案だ】 保育士等奨学金返還支援事業	幼児課	●事業の目的・内容 職場への定着を促進し、保育人材の確保を図ることを目的に、大学等の在学中に奨学金の貸与を受けて修学し、卒業後に新たに市内の保育施設等へ就職した保育士に対し、奨学金返還に係る費用支援する。  ●予算の内訳 保育士等確保対策事業費:2,818  ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	2,818	2,128		令和5年度に引き続き、対象者へ奨学金返還に係る費用支援し、保育士の確保につなげ、保育環境の充実を図ることができました。(対象者数18名)		7,920	引き続き、奨学金返還に係る費用支援を行い、保育士の職場への定着を促進し、保育人材の確保を図ります。
	【草津市子育て6つの案だ】 保育士等就職定着応援支援事業	幼児課	●事業の目的・内容 働きがいのある就業環境を構築し、離職を防止することを目的に、市内の私立保育施設等に新たに就職された保育士を対象に「就職定着応援支援金」を支給する。  ●予算の内訳 保育士等確保対策事業費:9,900(99人×@100)  ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	9,900	8,700		令和5年度に引き続き、対象者へ就職定着応援支援金を支給することにより、保育士の定着につなげ、保育環境の充実を図ることができました。(対象者数87名)		15,400	引き続き、就職定着応援支援金を給付し、保育士の職場への定着を促進し、保育人材の確保を図ります。
	【草津市子育て6つの案だ】 こども医療費助成事業	保険年金課	●事業の目的・内容 こども医療費助成の対象を12歳から18歳へ拡大することで、子育て世帯等の負担軽減を図り、安心して子育てができる環境づくりを推進します。 ●予算の内訳 事業費183,033 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	183,033	182,765		子育て世帯等への負担軽減を図ることができました。(助成件数79, 871件)	○	184,054	助成要件を確認のうえ適切に助成を行い、子育て世帯等の負担軽減を図ります。
	【草津市子育て6つの案だ】 紙おもつ無償化事業	幼児課 発達支援センター	●事業の目的・内容 保護者のおむつ補充等や保育士のおむつ管理に係る負担を軽減することを目的に、定期的に市内の保育施設等に紙おもつを配置する。 ●予算の内訳 幼児課:認定こども園運営支援費:41,573 発達支援センター:湖の子園運営費:505 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	42,078	36,503		保護者のおむつ補充等や保育士のおむつ管理に係る負担を軽減することができました。		4,147	引き続き、市内の保育施設等に紙おもつを配置し、保護者および保育士の負担軽減を図ります。
	【草津市子育て6つの案だ】 すくすく応援事業	子育て相談センター	●事業の目的・内容 次世代を担うこどもの健やかな成長を応援し、子育て世帯の経済的負担を軽減することにより、安心して子育てができる環境を整えることを目的とし、1歳未満のこどもがいる家庭に対して1人あたり3万円の商品券を配布することで、おむつ等の購入費用の助成を行い、子育て支援の充実を図ります。 ●予算の内訳 子育て支援事業費:37,050 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	37,050	37,050	●指標 すくすく応援事業商品券配布数 ●目標値(目標年度) 1,200人(R6) ●現状値(年度) (令和6年度)1,202人	●すくすく応援事業商品券配布数:1,202人 1歳未満のこどもがいる世帯に対して、おむつ等の購入費用の助成を行い、子育て支援の充実を図りました。	○	36,017	●すくすく応援事業商品券配布数:1,200人 1歳未満のこどもがいる世帯に対して、おむつ等の購入費用の助成を行い、子育て支援の充実を図ります。
	総合相談事業	子育て相談センター	●事業の目的・内容 母子健康手帳の交付では妊婦の心身の状況の把握をするとともに不安や心配の軽減・解消を図り、妊婦自身およびパートナーやこどもの健康の保持増進について考える機会となるよう、全妊婦と面談を実施します。必要があれば個別支援プランを作成し、切れ目ない支援につなげます。また、妊娠婦・子育て家庭の個別ニーズを把握し、情報提供や相談支援を実施し、不安や心配の解消・軽減を図り、必要なサービスを円滑に利用できるよう支援します。 ●予算の内訳 総合相談事業費(民生費):4, 387 総合相談事業費(衛生費):1, 150 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画、第二次草津市障害者計画	5,537	5,029		●総合相談実績:2200人(延べ) 妊娠、出産、子育てにおいて情報提供や相談支援を行い、不安軽減や必要なサービス利用の調整の支援を行いました。	○	5,580	妊娠や出産および子育てに関する情報提供や相談支援を通して不安の軽減を図り、必要なサービスを円滑に利用できるよう支援します。



◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6 実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7 事業計画
				妊婦健診事業	子育て相談センター	●事業の目的・内容 妊婦健診にかかる費用を公費にて助成し、妊婦の健康管理の充実および経済的負担の軽減を図ります。 ●予算の内訳 妊婦健診費事業:121,160 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画、第二次草津市障害者計画	121,160	118,420	●指標 妊婦健診受診券発行者数 ●目標値(目標年度) 1,182人(R6) ●現状値(年度) (令和6年度)1,183人	●妊婦健診受診券発行者数:1,183人 受診実人数:1,737人 受診延人数:12,721人 計画と概ね差異なく妊婦健診受診券を発行し、妊婦の健康管理の充実および経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産できるように支援しました。	○	137,536	●妊婦健診受診券発行者数:1,109人 妊婦の健康の保持増進を図るため、必要時医療機関と連携し妊婦の健康管理を行います。
				新生児訪問事業	子育て相談センター	●事業の目的・内容 概ね生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、養育者の心身の状況を把握し、育児等に係る相談、指導等の支援を行います。また、育児不安の解消を行うとともに、虐待予防の観点から養育支援が必要なケースを早期に発見し、関係機関と連絡調整を図ります。 ●予算の内訳 新生児訪問事業:15,551 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	15,551	12,370	●指標 訪問数 ●目標値(目標年度) 1,150件(R6) ●現状値(年度) (令和6年度)1,112件	●対象者数 1,115 件 ●訪問件数 1,112件 ●訪問率 99.7% R6年度は出産・子育て応援給付金のおかげで、高い訪問率を維持できました。訪問の拒否はおらず、長期里帰りや長期入院、出生後すぐの転居などで新生児訪問に行けなかったことが訪問率に影響しています。新生児訪問事業により把握した養育に支援の必要なケースに対しては、その後訪問や電話や母子保健事業を通して継続した支援を行いました。長期里帰りについては、里帰り先での訪問結果をもとに草津での支援を継続しています。	○	17,223	●訪問見込み件数 1,050件 相談対応や育児への助言等を行い、不安の軽減を図ります。また、育児支援の必要なケースを早期発見し、適切な子育て支援サービスや継続支援につなげます。
	子育て拠点の整備や運営体制の強化			児童館、つどいの広場、子育て支援センターほかほかタウン、地域子育て支援センター、地域子育て支援拠点施設運営事業	子育て相談センター	●事業の目的・内容 子育て家庭の親とそのこどもが気軽に集い、ふれあいながら相互に交流を図る場を提供します。また、育児相談、イベントの開催、園児との交流、情報提供を行います。 ●予算の内訳 児童館運営事業:9,482 つどいの広場運営事業:4,402 子育て支援センターほかほかタウン、地域子育て支援センター:34,098 子育て支援拠点施設運営事業:56,997 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画、第3次草津市障害者計画	104,979	102,985	●指標 延べ利用者数 ●目標値(目標年度) 117,041人(R6) ●現状値(年度) (令和6年度)114,250人	●各施設延べ利用者数 114,250人 つどいの広場運営事業:3,310人 子育て支援センターほかほかタウン:12,181人 地域子育て支援センター:18,224人 地域子育て支援拠点施設運営事業:80,535人 子育て家庭の親と子が気軽に集い、交流する場の提供を行うとともに、育児相談や情報提供等を行い、こどもの健やかな育ちを支援しました。	○	107,265	●見込利用者数 116,333人 (子育て相談センター、地域子育て支援センター、つどいの広場、子育て支援拠点施設) 子育て家庭の親と子が気軽に集い、交流する場の提供を行うとともに、育児相談や情報提供等を行い、こどもの健やかな育ちを支援していきます。また、育児相談をしやすい環境づくりができるよう努めます。

児童・学生世代(少年期・青年期)

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6 実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7 事業計画
不登校・ひきこり等への相談・復帰支援	こども若者育成支援推進事業	こども家庭若者課	●事業の目的・内容 社会生活を円滑に営む上で困難を有することも・若者とその家族を適切な支援につなげるため、こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども若者支援協議会の運営に取り組むとともに、ヤングケアラーへの支援、不登校やひきこもり等の課題に対する居場所の設置等を通じて、困難を抱えるこども・若者や家族の自立を支援します。 ●予算の内訳 こども・若者総合相談窓口運営費等:5,735 こども若者支援協議会運営費等:50 ヤングケアラー家庭支援モデル検討事業費:145 こども・若者の居場所運営委託費:6,137 こども食堂支援事業:481 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	12,548	11,825		・こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども若者支援協議会の運営、ヤングケアラーへの支援、こども・若者の居場所運営事業を実施し、こども・若者やその家族の自立に向けた支援を行うことができました。 ・こども食堂運営者が安心して継続運営が行えるように、草津市社会福祉協議会を通じて、こども食堂の開催回数に応じて8団体に補助を行いました。また、こども食堂相互の情報交換、交流を目的に開催したこども食堂情報交換会には、15団体の参加があり、顔の見える関係を築くことができました。	○	18,245	こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども・若者支援協議会の運営、ヤングケアラーへの支援、こども・若者の居場所運営事業を継続実施し、困難を抱えるこども・若者や家族の自立を支援します。また、こども食堂運営者が安心して継続運営するため、草津市社会福祉協議会と連携して支援します。
こどもの貧困対策、孤独・孤立化対策	いきづらさを抱える人のサロン(居場所づくり事業)	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 ひきこもり傾向にある若者等の社会参加を図るため、居場所や活動の場の提供をする事業所に補助している ●予算の内訳 いきづらさを抱える人のサロンへの補助金 :3, 845 ●位置付けのある関連計画等	3,845	3,845		ひきこもり傾向にある若者等の社会参加を図るため、居場所や活動の場の提供をする事業所に補助しました。	○	3,845	ひきこもり傾向にある若者等の社会参加を図るため、居場所や活動の場の提供をする事業所に補助します。
	【再掲】こども若者育成支援推進事業	こども家庭若者課	●事業の目的・内容 社会生活を円滑に営む上で困難を有することも・若者とその家族を適切な支援につなげるため、こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども若者支援協議会の運営に取り組むとともに、ヤングケアラーへの支援、不登校やひきこもり等の課題に対する居場所の設置等を通じて、困難を抱えるこども・若者や家族の自立を支援します。 ●予算の内訳 こども・若者総合相談窓口運営費等:5,735 こども若者支援協議会運営費等:50 ヤングケアラー家庭支援モデル検討事業費:145 こども・若者の居場所運営委託費:6,137 こども食堂支援事業:481 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	12,548	11,825		・こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども若者支援協議会の運営、ヤングケアラーへの支援、こども・若者の居場所運営事業を実施し、こども・若者やその家族の自立に向けた支援を行うことができました。 ・こども食堂運営者が安心して継続運営が行えるように、草津市社会福祉協議会を通じて、こども食堂の開催回数に応じて8団体に補助を行いました。また、こども食堂相互の情報交換、交流を目的に開催したこども食堂情報交換会には、15団体の参加があり、顔の見える関係を築くことができました。	○	18,245	こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども・若者支援協議会の運営、ヤングケアラーへの支援、こども・若者の居場所運営事業を継続実施し、困難を抱えるこども・若者や家族の自立を支援します。また、こども食堂運営者が安心して継続運営するため、草津市社会福祉協議会と連携して支援します。

働き世代(壮年期、中年期)

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6 実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7 事業計画
睡眠の重要性・ストレス対処法等に係る啓発	【再掲】 精神保健福祉対策	健康増進課	●事業の目的・内容 精神疾患の発病予防や市民の精神的健康の保持および増進を図るため、保健・福祉・医療等関係機関と連携を図り、こころの健康相談を行います。 ●予算の内訳 精神保健福祉対策費:97 ●位置付けのある関連計画等 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 健康くさつ21、草津市自殺対策行動計画	97	59		●各種イベント等における啓発 ・睡眠の重要性や生活リズムに関する正しい知識について、相談窓口リーフレットに記載、配布することで普及・啓発を図りました。  ●えふえむ草津での啓発 ・自殺対策の啓発のあわせて、睡眠と精神状態との関係性と良い睡眠を保つためのポイントについて発信しました。  ●広報くさつでの啓発 ・精神保健福祉啓発運動週間がある10月号にて、こころの病気に関する正しい知識の普及啓発を行いました。また、睡眠が心身の健康に欠かせないことから自殺対策強化月間である3月に特集号の記事にあわせて、良い睡眠を保つためのポイントを掲載し、普及啓発を図りました。	○	97	●各種イベントや広報誌を活用した啓発 睡眠の重要性や生活リズムに関する正しい知識の普及・啓発を図ります。  ●草津市健康都市宣言賛同企業・団体への啓発 睡眠は、体だけでなくこころの健康に深く関わっていることから、働き世代に向けた啓発を行います。
	【再掲】 各種がん検診事業 特定保健指導	健康増進課	●事業の目的・内容 がんの早期発見・早期治療により、がんの死亡率減少を目的に、対象年齢の市民に対し、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの検診を実施するため、地域の医療機関および特定健診会場での同時実施が可能な集団けん診会場での検診体制を整えます。 特定健康診査の結果から生活習慣病のリスクが高いと判断された方に対して生活改善の指導を実施します。 ●予算の内訳 健康診査費:146,719 特定保健指導費:14,448 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業実施計画(特定健康診査等実施計画・データヘルス計画)、健康くさつ21	健康診査費 146,719 特定保健指導費 14,448	健康診査費 136,204 特定保健指導費 9,069	●指標 がん検診の受診率の向上 ●目標値(目標年度) 60%(令和17年度) ●現状値(年度) 令和6年度 胃(50歳以上)2.7% 肺(40歳以上)9.1% 大腸(40歳以上)7.8% 子宮(20歳以上女性)14.3% 乳(40歳以上女性)11.8%  ●指標 特定保健指導実施率の向上 ●目標値(年度) 60%(令和17年度) ●現状値(年度) 令和6年度 11月に確定予定 令和5年度 16.1%	●がん検診・各種けん診等の実施 受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行いました。 ・医療機関での個別検診および特定健診との同時受診が可能な集団けん診を行いました。また、集団けん診については、予約枠拡大、Web予約の実施とともに、託児支援を受けられる環境づくりを行いました。 ・ナッジ理論を活用し、がん検診対象者に個別勧奨・再勧奨通知と大腸がん検査キット送付を行いました。 ・子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行いました。 ・イオンシネマや市SNS公式アカウントにおけるがん検診啓発動画を放映しました。  ●特定保健指導 特定保健指導未利用者に対しての訪問や、イベント型特定保健指導の実施など、実施率向上に努めました が、前年度より保健指導実施率が低下しました。	○	健康診査費 160,657 特定保健指導費 16,134	●がん検診・各種けん診等の実施 受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行います。 ナッジ理論を取り入れた勧奨通知によるがん検診個別勧奨と大腸がん検査キット送付による再勧奨を行います。 子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行います。 集団検診における予約枠および実施会場の拡大やWeb予約の実施、託児支援を行います。  ●特定保健指導 特定保健指導利用向上をはかるため、訪問指導を積極的に行います。
特定健診・がん検診等の受診率向上対策										
	【再掲】 特定健康診査	保険年金課	●事業の目的・内容 特定健康診査については、個別健診と集団けん診を併用して特定健診を実施するとともに、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付し、受診率の向上を目指します。また、生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケートの実施、集団けん診会場での健康啓発ブースの設置を行います。 後期高齢者健康診査については、後期高齢者医療制度加入者に対し、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受けて、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査を実施します。 ●予算の内訳 <特定健康診査費> 会計年度任用職員人件費(2人):8,179、特定健診リーフレット等:871、特定健診手数料等:4,398、特定健診委託料等:61,762、その他システム使用料等:1,429 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業推進計画(データヘルス計画・特定健康診査等実施計画)	特定健康診査費 76,639	特定健康診査費 64,197	●指標 特定健診受診率 ●目標値(目標年度) 特定健診60.0%(令和11年度) ●現状値(年度) 特定健診 (令和6年度)38.8%	●特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(10回)を併用して特定健診を実施しました。 ・対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付しました(7月13、338人、8月12、960人、9月12、311人)。 ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケート配布を実施しました(配布枚数約400枚)。 ・集団けん診会場で健康啓発ブースを設置しました(6回)。	○	特定健康診査費 87,402	●特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(12回)を併用して特定健診を実施します。 ・集団けん診では、託児サービスやショッピングモールをでの実施等により、若い世代のけん診受診の機会を確保します。 ・電話と電子申請を併用して集団けん診を受け付けます。 ・受診勧奨を委託することで、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知の送付や電話勧奨、SMSを利用した勧奨を行います。 ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発や集団けん診会場で健康啓発ブースを設置します。  ○健康都市に向けた効果・ねらい ・特定健康診査や後期高齢者健康診査を実施することで、被保険者の健康課題等を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、被保険者の健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持および向上を図ります。

高齢世代(高年期)

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7事業計画
高齢者の生きがいづくり	老人クラブ活動費補助事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者の社会参加や生きがいづくり等の推進のため、また、高齢者が身近な場所で支え合う関係づくりができるよう、老人クラブ活動への支援に取り組むとともに、老人クラブが実施する事業に要する経費の一部を補助します。 ●予算の内訳 老人クラブ活動補助:1,143、老人クラブ連合会活動補助:1,292 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	2,435	2,382	●指標 「いきいきとした高齢社会の実現」についての満足度 ●目標値(目標年度) 34.0%(令和8年度) ●現状値(年度) (令和6年度) 24.5%	高齢者がいきいきと充実した生活が送れるよう補助金交付等を行った結果、高齢者福祉の増進が図れました。 ◆老人クラブ活動費補助金…クラブ数:35クラブ	○	2,382	●老人クラブ活動費補助事業 高齢者の生きがいづくり・仲間づくり・健康づくりや地域の見守り活動等を行う老人クラブの活動を支援します。
	【再掲】地域サロン推進事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者の生きがいづくりや社会交流の活性化を推進するため、地域サロン活動への支援に取り組むとともに、地域サロンの開催に要する経費の一部を補助します。 ●予算の内訳 活動支援事業補助:11,754 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	11,754	11,144	●指標 「いきいきとした高齢社会の実現」についての満足度 ●目標値(目標年度) 34.0%(令和8年度) ●現状値(年度) (令和6年度) 24.5%	高齢者の生きがいづくりや、社会交流の活性化を推進できるような補助金交付等を行い、高齢者福祉の増進に寄与しました。 ◆地域サロン活動支援事業補助金…地域サロン数:154クラブ	○	12,217	●地域サロン活動支援事業 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し、高齢者の生きがいづくりや、社会交流の活性化を推進できるよう地域サロン活動を支援します。
フレイル予防対策(啓発を含む)	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業	長寿いきがい課 保険年金課 人とくらしのサポートセンター 健康増進課	●事業の目的・内容 地域の通いの場等に出向き、フレイル予防や生活習慣病予防に関する講話や保健指導の実施、保健師等の専門職による口腔機能のリスク者や健康状態不明者に対し、健康状態の把握と保健指導等を行うことにより、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防を図る。 ●予算の内訳 出前講座講師報償金:350、消耗品費:394、食糧費:1、印刷製本費:111、通信運搬費:233、健康教室等委託料:864、コピー使用料:41 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	1,994	1,425		ポピュレーションアプローチとして、地域の通いの場等に出向き、フレイル予防や生活習慣病予防に関する講話や保健指導を実施しました。ハイレスクアプローチとして、保健師等の専門職による口腔機能のリスク者や高血圧等の生活習慣病重症化リスクのある者に対し健康状態の把握と保健指導等を行いました。これらを併せて実施することにより、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防を図りました。 【R6実績】/ハイレスクアプローチ: 介入者:38人 【R6実績】(R6実績) ポピュレーションアプローチ: 医師等の専門職による出前講座 61回 延べ1,015人、 健幸フレイル予防講座:12回 延べ163人、 保健師による健康測定・健康相談等 80回 延べ3,427人	○	2,073	●高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業 地域の通いの場等に出向き、フレイル予防や生活習慣病予防に関する講話や保健指導の実施、保健師等の専門職による口腔機能のリスク者や重症化予防の対象者および健康状態不明者に対し、健康状態の把握と保健指導等を行うことにより、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防を図ります。
	地域介護予防活動支援事業(いきいき百歳体操・草津歯・口からこんにちは体操)	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者の社会参加の促進と高齢者がいきいきと生活し続ける地域づくりを目的に高齢者の身近な地域でいきいき百歳体操、草津歯・口からこんにちは体操の普及および活動の継続支援を行います。 ●予算の内訳 会計年度職員の報酬・職員手当等:4,800、研修等旅費:23、郵便代:225、消耗品費等:1,553 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	6,601	5,898	●指標 「いきいきとした高齢社会の実現」についての満足度 ●目標値(目標年度) 34.0%(令和8年度) ●現状値(年度) (令和6年度) 24.5%	介護予防(いきいき百歳体操、草津歯口からこんにちは体操、転倒予防)に取り組む団体への立ち上げ、継続支援を行いました。 【R6実績】 ・いきいき百歳体操:130団体 ・草津歯口からこんにちは体操:112団体 ・転倒予防体操:55団体  いきいき百歳体操サポーター、転倒予防サポーター、脳活リーダーの養成 【R6実績】 ・いきいき百歳体操:12人(延315人) ・転倒予防:12人(延199人) ・脳活リーダー:11人(延265人)	○	8,972	●地域介護予防活動支援事業(いきいき百歳体操・草津歯・口からこんにちは体操) 高齢者の社会参加の促進と高齢者がいきいきと生活し続ける地域づくりを目的に高齢者の身近な地域でいきいき百歳体操、草津歯・口からこんにちは体操の普及および活動の継続支援を行います。
	eスポーツ・ブル介護予防事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるよう、eスポーツ事業やブルを活用した介護予防教室を実施し、介護予防やフレイル予防に関する取組を推進します。 ●予算の内訳 ・eスポーツ事業:396 ・ブル介護予防教室:1,600 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	1,996	1,254	●指標 「いきいきとした高齢社会の実現」についての満足度 ●目標値(目標年度) 34.0%(令和8年度) ●現状値(年度) (令和6年度) 24.5%	地域の団体に対して、eスポーツアドバイザーを派遣しeスポーツの出前講座を令和5年度に引き続き実施しました。 ・eスポーツによる地域出前講座 17団体 延べ238人 また、令和6年度よりスタジオやブルを活用した介護予防教室をインフロンシア草津アクアティクスセンターにて実施し、介護予防の必要性や運動、食事を見直すきっかけづくりを提供し、介護予防を促しました。 ・ブルを活用した介護予防教室の開催 24回	○	3,260	eスポーツ介護予防事業やブル介護予防教室を通じて、心身機能の維持・改善や社会参加等を促すとともに、高齢者が主体的に介護予防に取り組むきっかけづくりとなるよう、介護予防の普及啓発を図ります。



健幸につながるまちづくり

支え合いのまちづくり

地域共生社会の推進

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7事業計画
活動団体相互の 交流の促進、地 域のネットワー クづくり	こども食堂支援 事業	こども家庭若者 課	●事業の目的・内容 地域で継続的にこども食堂を実施している運営者に対して草津市社会福祉協議会と連携して支援することを通じて、顕在化しにくい、こどもが抱える悩みや課題などを探り、併せてこどもへの食事の提供および安心して過ごすことのできる居場所の提供を促します。市内のこども食堂運営者を対象に情報交換会等を開催することで運営上の課題の共有、情報交換を促し、こども食堂間相互の活動の充実を図ります。 また、こども食堂の自発性と多様性を尊重しながら、地域に根ざしたネットワークづくりを進めていけるよう促します。 ●予算の内訳 こども食堂支援事業補助金:420、こども食堂情報交換会講師謝礼等:61 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	481	284		こども食堂運営者が安心して継続運営が行えるように、草津市社会福祉協議会を通じて、こども食堂の開催回数に応じて8団体に補助を行いました。また、こども食堂相互の情報交換、交流を目的に開催したこども食堂情報交換会には、15団体の参加があり、顔の見える関係を築くことができました。	○	542	こども食堂運営者が安心して継続運営が行えるように、草津市社会福祉協議会を通じて補助を行い、こどもへの食事の提供および安心して過ごすことのできる居場所の提供を支援します。また、こども食堂運営者を対象に情報交換会を開催することで運営上の課題の共有、情報交換を促し、こども食堂間相互の活動の充実を図ります。
	重層的支援体制 整備事業	人とくらしのサ ポートセンター	●事業の目的・内容 複雑化・複合化した課題がある世帯や狭間の課題があるケースの支援について、多機関協働として人とくらしのサポートセンターが総合調整役となり、関係課・関係機関で支援チームを構成し、それぞれの役割分担や支援の方向性を検討して支援を行います。また、長期的な寄り添いや伴走支援によるアウトリーチ支援事業や参加支援事業等を一体的に実施することで、地域や社会参加へ繋げ、包括的な支援体制の強化を図ります。 ●予算の内訳 多機関協働事業 :3,410 参加支援事業 :7,711 アウトリーチ支援事業 :7,040 ●位置付けのある関連計画等 草津市地域福祉計画、各種福祉関連計画(児童・高齢者・障害・困窮等)	18,161	16,348		こども・障害・高齢・生活困窮等といった各分野の相談支援事業と地域づくり事業や、各支援を支える多機関協働事業、参加支援事業、アウトリーチ支援事業を一体的に取り組み、コーディネート会議の開催を通じて複雑化・複合化した課題やはざまの課題がある世帯の支援について総合調整を行い、世帯支援のチーム形成や関係機関間の連携強化を図ることができました。 ・多機関協働事業 コーディネート会議開催数 47回	○	17,860	こども・障害・高齢・生活困窮等といった各分野の相談支援事業と地域づくり事業や、各支援を支える多機関協働事業、参加支援事業、アウトリーチ支援事業を一体的に取り組み、複雑化・複合化した課題やはざまの課題がある世帯の支援を検討するコーディネート会議の開催を行います。 また、第5期草津市地域福祉計画を策定する中で、重層的支援体制整備事業実施計画を一体的に策定します。
	【再掲】 福祉の総合相談 窓口	人とくらしのサ ポートセンター	●事業の目的・内容 人とくらしのサポートセンターでは、「福祉の総合相談窓口」として、生活困窮者だけでなく、複合的な課題を抱える方への相談支援を行い、ひきこもり等につきましては、アウトリーチを行いつながら支援を実施しているところです。また、令和4年度からは、就労支援相談員を配置し、就労支援にも力を入れ、まちづくりセンターでの出張就労相談も行っています。 ●予算の内訳 生活困窮者自立相談支援員加配費 :11,927 就労準備支援事業委託費 :8,177 一時生活支援事業費(シェルター事業費) :1,149 住居確保給付金給付費 :2,211 その他事務費 :815 ●位置付けのある関連計画等 草津市地域福祉計画、各種福祉関連計画(児童・障害等)	24,279	22,527		・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」として、多様で複合的な悩みなどの相談に対し、関係課・関係機関と連携を図りながら支援を行いました。また、市民への周知を図るため、ホームページや広報くさつへの掲載等を実施いたしました。 ・生活困窮者自立支援事業においては、自立相談支援、住居確保給付金、就労準備支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、こどもの学習支援事業等の事業に取り組みました。 ・総相談件数 670件(うち当センターのみ577人) (実件数) 内、生活困窮者自立相談 606件 総合相談 64件(各実件数) ・住居確保給付金 17件 (実件数(延長、再延長、再々延長含む)) ・就労準備支援事業 9件(実件数) ・一時生活支援事業 3件(実件数、延長含む) ・家計改善事業 11件(実件数) ・こどもの学習支援事業 1件(実件数) ・就労支援 51件(プラン件数)	○	30,037	●福祉の総合相談窓口 福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、生活困窮者を含む多様な課題について相談を受け本人と一緒に情報を整理するとともに関係機関との連携を密にし、必要な支援に繋ぎ課題解決に向けて進めていきます。 ○健幸都市に向けた効果・ねらい 生活困窮者に限らず、複合的な課題を抱えた人たちの、多様化、複雑化する福祉ニーズに対応した相談支援を行います。
	【再掲】 住まいの総合相 談窓口	建築政策課	●事業の目的・内容 低額所得者や高齢者、障害者等、住宅の確保に特に配慮を要する人に、住宅情報の提供等居住にかかる必要な支援体制を整備するため、滋賀県が認定する居住支援法人と市の福祉・住宅部局で構成する草津市居住支援協議会を令和7年4月1日に設立しました。 この協議会を通じて、官民連携による住宅確保要配慮者に対する居住支援相談体制の充実を図ります。 ●予算の内訳 ー ●位置付けのある関連計画等 草津市住生活基本計画	0	0	●指標 草津市に所在地を置き活動する居住支援法人数 ●目標値(目標年度) 1法人(令和10年度) ●現状値(年度) 3法人(令和6年度)	草津市居住支援協議会の設立に向けて、関係機関との調整や連携に向けた検討を進めました。	○	99	草津市居住支援協議会の役割や意義について周知を図るとともに、個別の相談案件への対応を通じて、より良い支援のあり方を検討します。
地域包括ケアシ ステムの推進	高齢者総合相 談・支援事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を維持できるよう市内6カ所に地域包括支援センターを設置し、高齢者に関する相談、実態把握、適切なサービスや制度の利用への支援を行います。 ●予算の内訳 地域包括支援センター委託料:154,112、システム利用料:461、会計年度任用職員の報酬・職員手当等:3,132、職員研修費:111、運営協議会報酬・随い:187、消耗品・修繕費等:8,863 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	166,866	166,556	●指標 「あんしんできる高齢期の生活への支援」についての満足度 ●目標値(目標年度) 32.6%(令和8年度) ●現状値(年度) (令和6年度) 21.4%	高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センターによる相談体制をとり、関係機関や地域の関係団体と連携をとりながら支援を行いました。 また、早い段階で地域包括支援センターの相談窓口へつながることができるよう、草津市地域包括支援センターPR月間(9月)を定めて集中的な周知の実施を行うとともに、様々な機会を捉え幅広い年代の方への周知を実施しました。 【相談件数(延べ)】R6 23,411件	○	168,222	高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を維持できるよう市内6カ所に地域包括支援センターを設置し、高齢者に関する相談、実態把握、適切なサービスや制度の利用への支援を行います。
	生活支援体制整 備事業	人とくらしのサ ポートセンター	●事業の目的・内容 単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、まちづくり協議会等の地域を代表する組織、NPO法人、民間企業、ボランティア団体、その他地域で活動する地縁組織など、地域における支え合い活動を担う多様な事業主体と連携しながら、高齢者の日常生活上の支援体制の充実および強化ならびに高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることを目的といたします。 ●予算の内訳 生活支援体制整備事業委託費 :22,038 生活支援体制整備事業促進システム導入事業 :1,848 その他事務費 :64 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	23,950	23,887		地域住民と医療・介護・福祉の関係者が集まり、高齢者の課題解決に向けた取り組みとして、介護事業所の活動と地域活動との連携についての検討や、地域資源マップの作成、認知症高齢者の見守りネットワークの強化などを実施できた学区もありました。 ・医療福祉を考える会議開催学区 R6年度:13学区	○	25,816	●生活支援体制整備事業 市社会福祉協議会に配置する生活支援コーディネーターを中心に、学区の実情に応じた地域の支え合い活動の推進を図っていきます。 ○健幸都市に向けた効果・ねらい 生活支援コーディネーターを配置するとともに、地域の多様な主体が参画する医療福祉を考える会議にて関係者間の情報共有と連携を推進し、高齢者が暮らしやすい環境づくりをすすめます。



人権が尊重される社会の推進

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7事業計画
ダイバーシティ社会の実現に向けた人権教育・相談体制の充実	人権相談	人権センター	●事業の目的・内容 人権侵害にあった方や人権に関する悩み事のある方の話を傾聴し、アドバイスや関係機関等を紹介し、解決へと導きます。 ●予算の内訳 人権相談員人件費:4,263 弁護士委託料等:231 ●位置付けのある関連計画等 人権擁護に関する基本方針	4,263 (人件費) 231 (委託料等)	4,222 (人件費) 37 (委託料等)		市民の人権に関する相談を受け、問題解決が図れるよう、関係機関等と連携をとりながら、人権の視点にたった相談窓口(常設相談、特設相談として弁護士及び人権擁護委員による相談)を開設しました。  相談延べ件数:159件(来館:37件、電話等:122件) ・人権擁護委員による相談(法務局事業) 19件 月曜日午前9時～午後4時 ・人権相談員による常設相談 138件 火曜日～土曜日午前9時～午後4時 ・弁護士による相談 2件 毎月第4火曜日午後1時30分～午後4時30分	○	4,357 (人件費) 231 (委託料等)	市民の人権に関する相談を受け、問題解決が図れるよう、関係機関等と連携をとりながら、人権の視点にたった相談窓口(常設相談、特設相談として弁護士及び人権擁護委員による相談)を開設します。  ・人権擁護委員による相談(法務局事業) 月曜日午前9時～午後4時 ・人権相談員による常設相談 火曜日～土曜日午前9時～午後4時 ・弁護士による相談 毎月第4火曜日午後1時30分～午後4時30分
男女共同参画社会の構築	男女共同参画における相談事業	男女共同参画センター	●事業の目的・内容 家庭関係やDVなど、さまざまな課題・困難をかかえる方の相談支援を行い、必要な方には専門家による女性のためのカウンセリングを実施します。また、貧困・孤独により不安を抱える女性に生理用品等の提供を通じて寄り添い支援助場所づくりに取り組みます。 ●予算の内訳 ・男女共同参画相談員の設置:4,369 ・カウンセリング事業の委託(託児委託含む):667 ・つながりサポート事業:3,591 ・女性の居場所づくり事業:183 ●位置付けのある関連計画等 第4次草津市男女共同参画推進計画	8,810	8,664		(実施内容) ・男女共同参画相談窓口 相談件数(延べ):272件 DV相談をはじめ総合相談など電話や面談による相談対応を行いました。 ・カウンセリング事業 相談日:第1水曜、第3土曜(各50分の3枠) 相談人数(延べ):61人 女性カウンセラーによる女性を対象とした面接相談を行いました。 ・つながりサポート事業 生理用品提供数:約1080セット 草津市社会福祉協議会へ業務委託を行い、貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性へ、生理用品の提供を通じて各種サービスや地域の支援につなげるなど寄り添った支援を行いました。 ・女性の居場所づくり事業 年6回実施 参加人数(延べ):約94人 まちのコミュニティハブツナグと協働委託契約の上、誰もが気軽に集い、話ができる居場所をつくり、女性がもつ悩み・不安・孤独の解消を図りました。  (評価) ・就労支援機関、DVシェルター等への同行を含むワンストップ支援を行うことができました。 ・カウンセラーによる専門相談を通じて、複雑な課題を持つ方への相談支援体制を強化できました。 ・生理用品の提供を通じて、相談先の周知や、地域の支援につなげることができました。 ・女性の居場所づくり事業によって、参加者同士のつながりや、相談窓口の周知を図ることができました。	○	9,439	(実施内容) ・男女共同参画相談窓口 随時実施 DVなどの困難な問題・不安を抱える方への相談支援、困難を抱える女性を行います。 ・カウンセリング事業 相談日:第1水曜、第3土曜(各50分の3枠) 対人関係、家族関係、自分の生き方など、様々な悩み・課題を抱えている女性を対象にカウンセラーによるカウンセリング事業を行います。 ・つながりサポート事業 草津市社会福祉協議会へ業務委託を行い、貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性へ、生理用品等の提供を行います。また、生理用品の提供を通じて各種サービスや地域の支援につなげるなど寄り添った支援を行います。 ・女性の居場所づくり事業 年6回実施予定 まちのコミュニティハブツナグと協働委託契約の上、誰もが気軽に集い、話ができるサロンを開催します。  ○健康都市に向けた効果・ねらい 家庭関係やDV、その他さまざまな困難を抱える方の相談支援を通じ、男女ともに安心して持てる力を発揮できるよう支援します。また、困難を抱える女性が安心してかつ自立して暮らせるよう関係課と連携した支援を行います。

地域での健康づくり

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7事業計画
地域ごとの健康課題の把握と共有	【再掲】生活支援体制整備事業	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、まちづくり協議会等の地域を代表する組織、NPO法人、民間企業、ボランティア団体、その他地域で活動する地縁組織など、地域における支え合い活動を担う多様な事業主体と連携しながら、高齢者の日常生活上の支援体制の充実および強化ならびに高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることを目的といたします。 ●予算の内訳 生活支援体制整備事業委託費 :22,038 生活支援体制整備事業促進システム導入事業 :1,848 その他事務費 :64 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	23,950	23,887		地域住民と医療・介護・福祉の関係者が集まり、高齢者の課題解決に向けた取り組みとして、介護事業所の活動と地域活動との連携についての検討や、地域資源マップの作成、認知症高齢者の見守りネットワークの強化などを実施できた学区もありました。 ・医療福祉を考える会議開催学区 R6年度:13学区	○	25,816	●生活支援体制整備事業 市社会福祉協議会に配置する生活支援コーディネーターを中心に、学区の実情に応じた地域の支え合い活動の推進を図っていきます。  ○健康都市に向けた効果・ねらい 生活支援コーディネーターを配置するとともに、地域の多様な主体が参画する医療福祉を考える会議にて関係者間の情報共有と連携を推進し、高齢者が暮らしやすい環境づくりをすすめます。

④行動変容につながるまちづくり

コンパクト・プラス・ネットワーク

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6 実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7 事業計画
地域公共交通網の充実	まめバス、まめタク事業	交通政策課	●事業の目的・内容 草津市内における移動手段を確保するため、路線バスが運行できない交通不便地に「まめバス」を運行し、「まめバス」でも運行できない地域においては「まめタク」を運行することにより、費用対効果の高い、高齢化社会において将来持続可能な公共交通の充実を目指します。 ●予算の内訳 まめバス運行補助金:76,097 まめバス車両購入補助金:12,623 まめタク運行補助金:7,213 キャッシュレス決済・乗降システム導入費:22,704 ●位置付けのある関連計画等 草津市地域公共交通計画(R6.4までは草津市地域公共交通網形成計画)	118,637	105,349	●指標 公共交通の利便性に満足している市民の割合 ●目標値(目標年度) 47.0%(2028年度)(※草津市地域公共交通網形成計画(R6.4まで)) 55.4%(2033年度)(※草津市地域公共交通計画(R6.5から)) ●現状値(年度) (令和6年度)46.9%	・交通系ICカード決済等の運用を開始したことにより、キャッシュレス化および公共交通の利便性向上が図れました。 ・市民(地域)や交通事業者とワークショップ等を実施し、東草津地域および志津学区等においてまめタクの路線再編を行い、市民の移動手段の確保および公共交通の利用促進を行いました。 【R6利用実績】 ・コミュニティバス「まめバス、草津・栗東・守山くるっとバス」:167,313人 ・デマンド型集合タクシー「まめタク」:2,507人	○	99,154	引き続き、「草津市地域公共交通計画」に基づき、市民(地域)、交通事業者と連携、協働して、公共交通ネットワークを形成し、公共交通の充実に努めます。 また、既存の地域公共交通と連携またはこれを補完する新たな交通手段の確立に向けて、草津市無料送迎バス活用実証事業を行います。
歩道のバリアフリー化	歩行空間バリアフリー化事業	道路課	●事業の目的・内容 市民の誰もが自由に移動できる環境を創造し、公共スペースのバリアフリー化と歩行者の安全確保を目指して策定した草津市バリアフリー基本構想の推進を図ります。 「すべての人が心地よく移動できるまち“草津”」を基本理念とし、事業を「短期」「中期」に分け、「草津駅周辺」および「南草津駅周辺」の2地区を重点整備地区として設定し、重点的にバリアフリー化事業を実施します。 ●予算の内訳 設計及び工事請負費:25,326 ●位置付けのある関連計画等 草津市バリアフリー基本構想	25,326 R5からの繰越額 14,227	23,278 R5からの繰越額 14,226		・西渋川南3号線他歩道改良工事(L=0.5km※R5年度からの繰越工事分を含む)を実施することにより、公共スペースのバリアフリー化と歩行者の安全確保を進めることができました。  工事内容・・・勾配調整、視覚障害者誘導用標示設置、グレーチング蓋取り換え(荒い目から細い目への変更)	○	25,454	・下記の工事により、公共スペースのバリアフリー化と歩行者の安全確保を進めます。 ・川原渋川線他歩道改良工事 L=0.6km

産学公民連携

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6 実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7 事業計画
健康分野に関する民間・大学との共同調査研究・社会実験	立命館大学との共同研究事業	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 第6次草津市総合計画の基本構想に掲げる「健康創造都市 草津」の実現に向け、健康への意識や関心が低い方々(健康無関心層)への効果的なアプローチの方策を検討するため、働き世代を被験者としたモニタリング調査(健康観察)を行い、本業務を通じて、心身の健康状態を表す「簡易的指標」の開発およびそれに連動した運動プログラム等の開発を目指す。 ●予算の内訳 共同研究委託費9,867 ●位置付けのある関連計画等 草津市健康都市づくり基本方針	9,867	9,867		健康への意識や関心が低い方々(健康無関心層)への効果的なアプローチの方策を検討するため、働き世代(市職員)を対象としたモニタリング調査(健康観察)を行った結果、運動プログラム等の開発につながりました。	○	200	「働き世代の健康」に係る委託研究の成果を市民へ還元するため、研究結果に基づいた市民公開講座を実施するとともに、運動プログラム動画を作成します。

情報発信

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆R6事業概要(金額の単位:千円)	◆R6予算(千円)	◆R6決算(千円)	◆成果指標	◆R6 実績	◆評価区分	◆R7予算(千円)	◆R7 事業計画
「健康都市づくり」に関する情報発信の強化	「健康都市くさつ」広報・啓発事業	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 市民や市を訪れる人等に対し、「健康」の重要性を発信し、より多くの人に「健康」を意識してもらうため、「健康都市くさつ」啓発・PR用動画の放映、ウォーキングイベント等を実施し、様々な方法で情報発信の強化に取り組みます。このことにより、「健康都市くさつ」の知名度を向上させるとともに、市民の健康に対する意識を高めます。 ●予算の内訳 啓発物品作成費:205、啓発事業委託:648、横断幕保守管理業務委託:272、動画放映:2,310 ●位置付けのある関連計画等 草津市健康都市づくり基本方針	3,435	3,398	●指標 「健康」に暮らしていると思う市民の割合 ●目標値(目標年度) 60.0%(令和14年度) ●現状値(年度) (令和6年度)66.2%	市民が健康づくりに取り組むためのきっかけづくりや、環境づくりを行うため、広報・啓発事業として、啓発用プロモーション動画の映画館での放映や、横断幕の掲示等に取り組みました。また、新たに健康都市くさつ公式SNSを立ち上げ、幅広い方に健康都市づくりの取組を知っていただき、「健康都市くさつ」の効果的な啓発・周知(情報発信)につなげることができました。	○	2,094	健康都市くさつ公式SNSを活用し、より多くの方に健康都市づくりの取組を知っていただくとともに、健康づくりのきっかけとしていただけるよう取り組みを進めます。